

「わたしとはるくとたつくん」

犬山市立犬山西小学校 一年

いちはら ゆりの

わたしには、はるくんたつくんというふたごのおとうとがいます。

はるくとたつくんには、うまれたときからちてきしようがいます。はるくんたつくんはいま5さいです。ほんとうは、ねんちゆうさんとしたけどまだようちえんもほいくえんもいっていません。

はるくんたつくんは、まだおしゃべりができません。たまにきゆうにいたりすることがあってこまることもあります。なにをつたえたのかわからなからです。はるくんたつくんは、ごはんもてでたべるし、といれもいけないのでまだおむつをはいています。できないことがたくさんあるけどすこしずつわかることもふえてきました。

わたしがはるくんをだっこするとたまにはるくんのほうからもぎゆうつてしてくれます。そのときわたしは、はるくんのことをかわいいなとおもいます。はるくんは、おしゃべりができないけど、うれしいとおもっているのかな。

たつくんは、わたしがいすにすわっているときとなりがあいているとすわりにきて、わたしのかおをみてわらいます。きっとたつくんは、こつちをむいてあそんでほしいとおもっているのかな。

はるくとたつくんは、おしゃべりができないかわりにわらったりないたりしてわたしにきもちをつたえている気がします。はるくとたつくんがわらつてくれるとうれしいし、ないているとどうしたのかなとしんぱいになります。

わたしは、いつもだいなものをとられたり、わたしのおかしをたべられたりするので、「いやだなあ、たいへんだなあ」とおもいます。でも、このさくぶんではるくんたつくんのことをいつもよりかんがえてみて、やっぱりかわいいおとうとがいてよかったです。はるくんたつくんはおしゃべりできないけど、いままでわたしにいろいろなきもちをつたえてくれていたんだなときぎました。

わたしはこれからもかぞくみんなでなかよくくらしたいです。